

教科 科目	国語 現代文B・文系現文演習	学 年	6年	単 位	文系4単位 理系2単位	担 当	野見山 和也
<b>【科目の概要】</b>							
近代～現代のさまざまな文章を読み、視野を広げ思考力をつけます。同時に、現代社会に対応するため、資料や図グラフを理解する力やプレゼンテーションする力も育成します。現代文演習では、大学受験に必要な読解力を身に着けます。							
<b>【育成をめざす学力】</b>							
① 自学できる力							
② 多様なテキスト（文章・資料・図・グラフなど）を読解する力							
③ テキストに書かれていることを自分の知識や考え方、経験と結びつけて理解する力							
④ 自分の意見を適切な形で発信できる力							
<b>【評価基準・評価項目】</b>							
・必要な語彙が身についている。							
・文章構成を理解し、主題を理解することができる。							
・筆者の主張を捉え、それに対する自分の考えを持つことができる。							
・自分の考えをプレゼンテーションすることができる。							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
4月	評論「異文化理解」						
5月	小説「檸檬」						
6月	評論「名づけの精神史」						
7月	評論「群衆の顔」						
8月	*入試問題演習						
9月	小説「舞姫」						
10月	小説「舞姫」						
11月	評論「〈読み〉の楽しみ」						
12月	大学入学共通テスト対策						
1～3月	大学入学共通テスト・国立二次・私大対策演習						

教科 科目	国語 古典B (古文・古文演習)	学 年	6年	単 位	古文2単位 演習1単位	担 当	川西 和司 畠中 典子
<b>【科目の概要】</b> さまざまな古文の文章を読むことで、人間・社会・自然などについて、自分の考えを深めたり発展させたりするようにします。また、古語・文法事項・古典常識などを的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古文特有の文体や修辞などの表現上の特徴をとらえられるようにします。日本人の原点として、その伝統的文化や言葉を大切にしながら、生活様式や、美意識、価値観を学び、その生き方を豊かに広げていく一助としていきます。センター試験等の入試問題に解答できる力をつけていきます。							
<b>【育成をめざす学力】</b> ① 自学（予習・復習など）できる力 ② 古語・文法事項・古典常識などに関する基礎知識力 ③ 多様なテキスト（韻文・物語文・随筆思想ど）を読解する力 ④ テキストに書かれていることを自分の知識や考え方、経験と結びつけて表現する力 ⑤ 入試の出題形式に応じて解答できる力							
<b>【評価基準・評価項目】</b> ・古文の正確な現代語訳ができる。 ・和歌の解釈や観賞ができる。 ・古典文法（助詞・敬語・和歌の修辞法）などが理解できる。 ・文学史を理解できる。 ・登場人物の心情説明等、設問形式に応じた解答（字数制限のある解答）ができる。 ・作品の時代背景や価値観、文学史的な意義などを理解し、表現できる。							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
4月	日記「蜻蛉日記」町の小路の女・泔杯の水 ・問題演習						
5月	日記「和泉式部日記」夢よりもはかなき世の中を ・問題演習						
6月	日記「紫式部日記」若宮誕生・和泉式部・清少納言 ・問題演習						
7月	評論「無名抄」おもて歌のこと 「三冊子」不易流行 ・問題演習						
8月	*入試問題演習						
9月	物語「源氏物語」車争ひ・心づくしの秋風 ・問題演習						
10月	物語「源氏物語」野分の垣間見・紫上の死 ・問題演習						
11月	歴史物語「大鏡」菅原道真の左遷 評論「無名草子」紫式部 「源氏物語玉の小櫛」もののはれの論 ・問題演習						
12月	評論「玉勝間」師の説になづまざること ・大学入学共通テスト対策演習						
1月	大学入学共通テスト対策演習・私大入試対策演習						
2～3月	国公立・私大入試対策演習						

教科 科目	国語 古典B（漢文）	学 年	6年	単 位	1単位	担 当	野見山 和也
<b>【科目の概要】</b> 漢文の句法や基礎的な知識を理解し、現代語訳や解釈ができるようにします。正しく内容を把握でき、共通テストに対応できる力を養います。また中国の歴史・思想などに触れることで、日本文化に大きな影響を与えた文化を理解させ、世界史の中での中国文化を把握させます。							
<b>【育成をめざす学力】</b> ① 自学（予習・復習など）できる力 ② 漢文句法や重要語に関する基礎知識力 ③ 多様なテキスト（漢詩・物語・随筆・思想・史伝など）を読解する力 ④ 複数のテキストに書かれていることを結びつけて理解する力							
<b>【評価基準・評価項目】</b> ・漢文の訓読ができる。 ・漢文の正確な現代語訳ができる。 ・漢詩の解釈ができる。 ・初見の文章でも、短時間で、おおよその内容把握ができる。 ・共通テストや個別学力試験において、正しい選択肢が選べる。 ・個別学力試験において、正しい記述ができる。							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
4月	寓話「五十歩百歩」「不死之薬」						
5月	小説「死友」						
6月	史話・史伝「刎頸之交」						
7月	思想「性善」「性悪」						
8月	*入試問題演習						
9月	史話・史伝「三顧之礼」						
10月	詩「子夜呉歌」「長恨歌」ほか						
11月	日本漢詩文「読家書」「無題」ほか						
12月	大学入学共通テスト対策演習						
1月	大学入学共通テスト・私大入試対策演習						
2～3月	国公立・私大入試対策演習						

教科 科目	世界史B	学 年	6年文系 (選択者)	単 位	4単位	担 当	瀧澤 優子
<p><b>【科目の概要】</b> 国際紛争、環境問題、人口問題、経済格差など、現代社会には世界的な視野で解決が求められる課題が山積している。こうした問題を改善していくには民族・宗教・ことばなど文化の違いをこえた対話が欠かせず、そして対話にはおたがいを理解することが前提となる。文化の違いは人々の歩んできた歴史に影響を受けており、また現在のさまざまな課題は過去の人々の営みの延長線上に発生している。私たちが幸せを求めて未来を志向するほど、過去についての学びは大切となる。6年の世界史では、2つの世界大戦の学習後、古代から中世世界を学習し、地域の歴史的特性への理解を深めることを通して現代の国際的諸問題の原点に立ち返り、真の国際人として国際平和に貢献できるような人材となるよう、国際社会を創造するためのあらゆる課題を多角的に捉えていく。また、演習時間の充実により、入試に通用する受験力を養っていく。</p>							
<p><b>【育成をめざす学力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界史を総合的に理解するために必要な基本用語を習得する力</li> <li>・学習内容を整理し、「人間理解」「社会認識」に関する地域・時代別の特性や普遍性を理解する力</li> <li>・学習内容を具体例として、「人間理解」「社会認識」に関する地域・時代別の特性や普遍性を説明する力</li> <li>・学習内容を自己の関わりからとらえ、世界史における「人間理解」「社会認識」のあり方を推断し、評価する力</li> <li>・自己の価値観から現代社会を分析し、世界の歴史が与えた影響をふまえて社会課題に対する解決策を提示する力</li> <li>・学習活動を通じ、世界史学習の意義を理解し、学習への興味・関心を喚起する力</li> <li>・学習活動を通じ、自己の学習状況や学習姿勢を検証し、改善する力</li> </ul>							
<p><b>【評価基準・評価項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した基本用語を正確に暗記し、表記できる (社A①)</li> <li>・基本用語同士の関係を図式化し、単元の学習内容について整理できる (社A②)</li> <li>・基本用語を使って、単元の学習内容について説明できる (社A③)</li> <li>・単元の学習内容を通じて、各地域・時代の「人間理解」「社会認識」の特殊性・普遍性を判断できる (社B①②)</li> <li>・各地域・時代の「人間理解」「社会認識」について自分の価値観に照らして評価できる (社B③)</li> <li>・社会問題から解決課題を発見し、学習内容を活用しながら解決策を提示できる (社C①～⑤)</li> <li>・学習過程において図版、地図、グラフ、文章等の資料を読み取ることができる (社A④)</li> <li>・学習過程において必要な情報を収集し、図版、地図、グラフ、文章等の資料として提示できる (社B④, C①～⑤)</li> <li>・学習成果を通じて、学習内容に関する習得、理解、活用状況を検証し、改善できる (社A⑤, B⑤, C⑥)</li> <li>・学習過程を通じて、世界史学習の意義を理解し、興味・関心を喚起できる (社C⑦)</li> </ul>							
<p><b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b></p>							
4月	<p><b>戦間期のアジア～第二次世界大戦</b> (単元 35) 大戦間のアジア動向 (単元 36) 第二次世界大戦</p>						
5月	<p><b>先史時代～古代世界</b> (単元 1) 人類の出現と歴史時代への移行 (単元 2) 古代オリエント世界</p>						
6月	<p>(単元 3) 古代ギリシア、ヘレニズム世界 (単元 4) 古代ローマとキリスト教</p>						
7月	<p>(単元 5) 古代インド、イラン世界 *オンデマンド授業と併用</p> <p><b>東アジア文化圏の形成</b> (単元 6) 古代中国王朝の成立 (単元 7) 中華帝国と東アジア文化圏の形成</p>						
8月	<p><b>アジア諸地域の繁栄</b> (単元 8) 東アジア世界の再編 (単元 15) モンゴル帝国と中華帝国の復興</p>						
9月	<p>(単元 16) 明朝の内政と外交 (単元 17) 最後の中国王朝</p>						
10月	<p><b>ヨーロッパ世界の形成と発展</b> (単元 11) 中世西欧世界の成立 (単元 12) 中世西欧世界と東欧世界</p>						
11月	<p>(単元 13) 中世西欧世界の変容 (1) (単元 14) 中世西欧世界の変容 (2)</p>						
12月	<p>総合演習 (各国史・時代横断史)</p>						
1月	<p>総合演習 (大学入学共通テスト対策演習)</p>						
2月	<p>総合演習 (私大対策演習：特別時間割)</p>						

教科 科目	日本史B	学 年	6年文系 (選択者)	単 位	4単位	担 当	古賀 倫子
<b>【科目の概要】</b> 国際化の進んだ今日では、世界各地で人々と接する機会が増え、自分とは異なる文化を理解する努力が求められています。異文化を理解し、異文化との共生をめざすためには正しい歴史認識をもつことが大切です。そこで、6学年では、5学年からの継続的な歴史をふまえて学習を深めていき、近世社会の政治の特徴から近代国家の成立や国際関係を考察し、現代社会の諸問題につながる課題を見つけ、世界と日本のもつ様々な課題解決の方策を探っていきます。							
<b>【育成をめざす学力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の文化と伝統と現代日本の課題を理解するための日本史の基本的事項を理解する力</li> <li>・史料および資料の意味、さらに将来の予測を読み取る力</li> <li>・歴史の時系列の理解、歴史の過程に見られる「原因・結果・影響」を整理する力</li> <li>・歴史的な見方や考え方から現代への問題を考えることができる力</li> <li>・学習活動を通じ、日本史の学習の意義を理解し、学習への興味・関心を喚起する力</li> <li>・学習活動を通じ、自己の学習状況や学習姿勢を検証し、改善する力</li> </ul>							
<b>【評価基準・評価項目】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した基本用語を正確に暗記し、表記できる (社A①)</li> <li>・基本用語同士の関係を図式化し、単元の学習内容について整理できる (社A②)</li> <li>・基本用語を使って、単元の学習内容について説明できる (社A③)</li> <li>・単元の学習内容を通じて、各時代の「人間理解」「社会認識」の特殊性・普遍性を判断できる (社B①②)</li> <li>・各時代の「人間理解」「社会認識」について自分の価値観に照らして評価できる (社B③)</li> <li>・社会問題から解決課題を発見し、学習内容を活用しながら解決策を提示できる (社C①～⑤)</li> <li>・学習過程において図版、地図、グラフ、文章等の資料を読み取ることができる (社A④)</li> <li>・学習過程において必要な情報を収集し、図版、地図、グラフ、文章等の資料として提示できる (社B④, C①～⑤)</li> <li>・学習成果を通じて、学習内容に関する習得、理解、活用状況を検証し、改善できる (社A⑤, B⑤, C⑥)</li> <li>・学習過程を通じて、日本史学習の意義を理解し、興味・関心を喚起できる (社C⑦)</li> </ul>							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
4月	第5章 武家社会の成長						
5月	幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場						
6月	第6章 幕藩体制の確立 織豊政権、桃山文化、幕藩体制の成立						
7月	第7章 幕藩体制の展開 幕政の安定 経済の発展						
8月	第8章 幕藩体制の動揺 幕政の改革 幕府の衰退						
9月							
10月	第4部 近代・現代						
11月	第9章 近代国家の成立 第10章 近代日本とアジア						
	第11章 占領下の日本						
	第12・13章 高度成長の時代 激動する世界と日本						
12月							
1月							
2月	大学入学共通テスト対策演習・私大対策演習						

教科 科目	地理 B	学 年	6 年理系	単 位	2 単位	担 当	古賀 彩香
【科目の概要】 現代の世界は、かつてないほどに地域間の交流が深まり、それに伴い、経済格差・国際紛争・環境問題・人口問題など解決を迫られた問題が山積している。こうした問題を解決するには、人間世界の発展の歴史という時間を指標にした縦軸と、現在の視点で世界の諸地域の成り立ちや相関連を理解する横軸の視点が必要である。地理では、この横軸として世界各地がどのような自然的立地条件によって成り立ち、どのような経済・政治状態で発展し、お互いにどのような関連で結びついているかを理解し、それらの狭間で起こっている諸問題について、解決の糸口を探りたい。							
【育成を目指す学力】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した基本用語を習得する力</li> <li>・世界の国々や地方の、地域の特性について、一般性と特殊性、個別性を理解する力</li> <li>・地図化された資料、図式化された諸資料を読み取り、その中から問題解決に必要な具体的事実を提示する力</li> <li>・事象を諸地域との関連上で思考する地理的見方・考え方でとらえ、図式化、地図化する力</li> <li>・学習内容を人間理解や社会認識につなげる力</li> <li>・諸地域の個別の学習から、世界規模の課題を発見し、説得力ある改善の方策を探り表示する力</li> </ul>							
【評価基準・評価項目】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本用語を正確に暗記し、表記できる。(A①)</li> <li>・各地域についての基本用語同士の関係を把握し、図式化できる。(A②)</li> <li>・提示された資料から、各地域の特徴を読み取り、特徴の判断に必用な情報を抽出できる。(A④)</li> <li>・各地域の社会観や人間観に対する判断に必用な資料を収集指定時できる。(B④)</li> <li>・各地域の社会観や人間観を推測し、自分の見かたとして説明できる。(B②)</li> <li>・地図化された資料、図式化された諸資料を読み取り、その中から問題解決に必要な具体的事実を独自の視点から考えることができる。(C②)</li> <li>・学習過程を通じて、地理学習の意義を理解し、興味・関心を喚起できる。(C⑦)</li> </ul>							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	人口、村落・都市						
5 月	1 節 世界の人口						
6 月	2 節 人口問題 ①世界の人口問題 ②発展途上国の人口問題 ③④先進国・日本の人口問題						
7 月	3 節 村落と都市 ①集落の成り立ち ②形態と機能 ③機能と生活 ④日本の都市						
	都市・住居問題 ①世界の都市・住居問題 ②日本の都市・住居問題						
	第 2 章 生活文化、民族・宗教						
	1 節 生活文化 ①②生活文化の地域差異・画一化 ③日本の生活文化						
	2 節 民族と宗教 ①民族・言語 ②宗教						
	第 II 部 現代世界の系統地理的考察						
	3 章 生活文化、都市と村落						
	4 章 生活文化、民族・宗教						
8 月	第 III 部 1 章 現代世界の地域区分						
9 月	2 章 1 節 地誌の考察方法						
10 月	2 節 東アジア ①アジアの自然環境 ②中国 ③韓国・北朝鮮						
	2 節 東南アジア ①自然環境と社会 ②東南アジア諸国						
	3 節 南アジア ①自然環境と社会 ②南アジア諸国						
	5・6 節 西アジア・アフリカ ①自然環境 ②社会 ③農業 ④鉱産資源						
	⑤西アジア諸国 ⑥北アフリカ諸国 ⑦中南アフリカ諸国						
	7 節 ヨーロッパ ①自然環境 ②社会 ③EU ④農林水産業 ⑤鉱工業						
11 月	8 節 ロシアと周辺諸国 (旧ソ連) ①自然環境 ②社会 ③農産 ④鉱工業						
12 月	9 節 アングロアメリカ 10 節 ラテンアメリカ 11 節 オセアニア						
1 月	大学入学共通テスト対策						

教科 科目	公民演習	学 年	6年文系 (選択者)	単 位	2単位	担 当	宮 直 樹
<p>【科目の概要】ソ連邦のウクライナ侵攻は事態の収束が未だ見えない中、国際社会は、自国中心主義の下、武装平和による安全保障への回帰が顕著となっている一方で、紛争下での貧困や人権侵害、地球環境の破壊など、一体化して取り組むべき課題が山積している。日本に目を転じれば、少子高齢化の進行、低迷する日本経済の中での物価高と不安定な雇用、資源・エネルギー問題の深刻化、IT社会、多様性社会の進展など、これまで日本の発展を支えてきた価値観の転換を迫られる様々な課題に直面している。こうした現代社会において求められるのは、日々起こる諸事象を意味づけ、課題を発見し、問題解決の糸口を探し、他者との協働によってよりよい社会を構築していく力である。6学年では、「現代社会」の国際経済・国際政治を学ぶことで、「世界史」学習の補強を行いつつ、未来社会の有為な形成者としての社会的スキルを磨くとともに、共通テストおよび私立大学の「現代社会」入試問題レベルに対応する問題対応力を育てる。なお「現代社会」の倫理分野および経済分野の日本経済の歩みと労働・社会保障問題は4学年から実施している公民補講で継続して学んでいく。</p>							
<p>【育成をめざす学力】</p> <p>(知識) 現代日本と世界の政治・経済について、基礎事項を理解する力。  (技能) 政治・経済と自己とのかかわりを具体例から把握する力。  (活用) 現代社会の現状と課題について、根拠を示して評価する力。  (探求) 現代社会に生きる一員として何をなすべきかを考えていく問題解決力や判断力・洞察力。</p>							
<p>【評価基準・評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本用語を正確に暗記し、表記できる。(A①)</li> <li>基本用語同士の関係を図式化し、単元の学習内容について整理できる。(A②)</li> <li>基本用語を使って、単元の学習内容について説明できる。(A③)</li> <li>現代社会を現代の政治、経済、文化について、それぞれを関連づけて理解できる。(A②)</li> <li>現代社会の諸事象に関する利害や価値観の対立論争を複合的な視点で理解し、整理できる (B②)</li> <li>現代社会の諸事象に関する判断や評価を客観的な資料を根拠に提示し、他者に説明できる。(A④B②)</li> <li>人間の特質と尊厳などについて、先哲の思想と倫理をもとに考えることができる。(B③)</li> <li>現代の人間や社会の問題点を独自の視点から設定できる。(B②)</li> <li>知識や経験、情報を活用して、現代社会の諸事象の実態把握、原因分析、将来予測から課題を設定できる (C①)。</li> <li>現代社会の課題解決策を、知識や経験、情報収集、制約条件、自分自身の価値観によって選択・決定できる。(C③)</li> <li>自己の社会改善策の立案・提示のプロセスを通じて学習意義を発見し、学習、人間、社会に対する供与・関心を喚起できる。(C④)</li> </ul>							
<p>【年間指導単元・内容と学習活動】</p>							
4月	<b>1 国際政治の原理</b> (1) 国際政治 (2) 国際法						
5月	<b>2 国際連合の現状と課題</b> (1) 安全保障のあゆみ (2) 国際連合の成立 (3) 国際連合の課題						
6月	<b>3 第二次大戦後の国際政治 (*世界史単元 37~39)</b> (1) 冷戦の確立と拡大 (2) 雪解けと非同盟主義 (3) 国際政治の多極化						
7月	<b>3 第二次大戦後の国際政治 (*世界史単元 37~39)</b> (4) 冷戦の終結と東欧革命 (2) 冷戦後の国際政治						
8月	<b>4 軍縮と民族問題</b> (1) 核抑止論と核軍縮 (2) 米ロ軍縮と日米安保 (3) パレスチナ問題 (4) 各地の民族問題						
9月	<b>5 国際分業と国際通貨制度</b> (1) 国際分業と貿易 (2) 国際収支 (3) 外国為替市場						
10月	<b>6 第二次大戦後の国際経済</b> (1) IMFとGATT (2) 資源ナショナリズムと石油危機 (3) 新自由主義とグローバル経済						
11月	<b>6 第二次大戦後の国際経済</b> (1) WTOと地域的経済統合 (2) EUとASEAN (3) 金融資本主義						
12月	<b>7 国際経済の現状と課題</b> (1) 南北問題と南南問題 (2) 地球環境保全と経済						
1月	総合演習 (共通テスト対策演習: 特別時間割で実施)						
2月	私大対策演習 (個別指導)						

教科 科目	数学 数学ⅠA・ⅡB演習	学 年	6年文系 (進学)	単 位	4単位	担 当	出来 三博
<p>【科目の概要】</p> <p>4、5年次に履修した数学ⅠA、ⅡBの知識を柔軟に組み合わせて活用しながら、大学入学共通テストにおいて十分対応できるよう問題演習を行う。養うべきことは、思考力と正確で速い計算力であり、直観力や表現力(数式・イメージ図・グラフ)も必要である。入試問題に対して、①「問題」を色々な視点から分析できる力、②与えられた条件を正確に把握出来る力、③何が問われているのかを明確に把握出来る力、④今まで学んできた知識を駆使して的確な解法を選び取る力、また、⑤その解法のプロセスを明快に表現・説明できる力の育成を目指す。</p>							
<p>【育成をめざす学力】数学が高度に抽象化されていくプロセスを体験しながら、数学的読解力・思考力を育てる。</p> <p>①基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、<u>基礎的な知識を習得し活用できる力</u>(A)</p> <p>②色々な事象を数学的に考察して<u>的確に情報を取り出す力</u>(C)、<u>取り出した情報を表現できる力</u>(C)、<u>熟考して処理する仕方や推論の方法を身に付け的確に問題を解決できる力</u>(BDE)・<u>表現できる力</u>(E)</p> <p>① <u>数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ論理的に考える力</u>(D)</p> <p>④数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に<u>活用する力</u>(G)</p>							
<p>【評価基準・評価項目】</p> <p>①定義や公理などの基礎的な知識が理解のもとで身につけている。②法則や定理が理解のもとで身につけている。③問題の条件が正確に把握できる。④問題の条件を数式・図・グラフ等を用いて数学的に表現できる。⑤何が問われているのかが正確に把握できる。⑥問題解決のための方法を多角的に考察できる。⑦問題解決の方法を仲間と一緒に考え合うことができる。⑧問題の解法のプロセスを正確に記述できる。⑨問題の解法のプロセスを的確に説明できる。⑩「問題」を評価しようとする姿勢を持っている。</p>							
<p>【使用する教材】 ニューステージⅠAⅡB</p>							
<p>【年間指導単元・内容と学習活動】 基礎問題・総合問題演習</p>							
4月 5月	<p>数学ⅠA</p> <p>1. 数と式</p> <p>2. 集合と命題</p> <p>3. 2次関数</p>	<p>数学ⅡB</p> <p>1. 式と証明</p> <p>2. 複素数と方程式</p>					
6月	<p>4. 図形と計量</p> <p>5. データの分析</p>	<p>3. 図形と方程式</p> <p>4. 三角関数</p>					
7月 8月 9月	<p>6. 場合の数と確率</p>	<p>5. 指数関数と対数関数</p> <p>6. 微分と積分</p>					
10月 11月	<p>7. 図形の性質</p> <p>8. 整数の性質</p>	<p>7. 平面ベクトル</p> <p>8. 空間ベクトル</p> <p>9. 数列</p>					
12月 1月	<p>大学入学共通テスト対策 (パックV)</p>						
2月	<p>私大・国公立2次試験対策問題演習</p>						



教科 科目	数学 数学ⅠA・ⅡB演習	学 年	6年文系 (特進)	単 位	4単位	担 当	矢野 美保
<p>【科目の概要】</p> <p>4、5年次に履修した数学ⅠA、ⅡBの知識を柔軟に組み合わせて活用しながら、大学入学共通テストにおいて十分対応できるよう問題演習を行う。養うべきことは、思考力と正確で速い計算力であり、直観力や表現力(数式・イメージ図・グラフ)も必要である。入試問題に対して、①「問題」を色々な視点から分析できる力、②与えられた条件を正確に把握出来る力、③何が問われているのかを明確に把握出来る力、④今まで学んできた知識を駆使して的確な解法を選び取る力、また、⑤その解法のプロセスを明快に表現・説明できる力の育成を目指す。</p>							
<p>【育成をめざす学力】数学が高度に抽象化されていくプロセスを体験しながら、数学的読解力・思考力を育てる。</p> <p>①基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、<u>基礎的な知識を習得し活用できる力</u>(A)</p> <p>②色々な事象を数学的に考察して<u>的確に情報を取り出す力</u>(C)、<u>取り出した情報を表現できる力</u>(C)、<u>熟考して処理する仕方</u>や推論の方法を身に付け<u>的確に問題を解決できる力</u>(BDE)・<u>表現できる力</u>(E)</p> <p>③数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ<u>論理的に考える力</u>(D)</p> <p>④数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に<u>活用する力</u>(G)</p>							
<p>【評価基準・評価項目】</p> <p>①定義や公理などの基礎的な知識が理解のもとで身につけている。②法則や定理が理解のもとで身につけている。③問題の条件が正確に把握できる。④問題の条件を数式・図・グラフ等を用いて数学的に表現できる。⑤何が問われているのかが正確に把握できる。⑥問題解決のための方法を多角的に考察できる。⑦問題解決の方法を仲間と一緒に考え合うことができる。⑧問題の解法のプロセスを正確に記述できる。⑨問題の解法のプロセスを的確に説明できる。⑩「問題」を評価しようとする姿勢を持っている。</p>							
<p>【年間指導単元・内容と学習活動】</p>							
4月 5月	四訂版メジアン数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B						
6月	<p>基礎問題・総合問題演習</p> <p>四訂版メジアン数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B</p> <p>ベネッセ過去問演習</p> <p>センター試験過去問演習</p>						
7月							
8月							
9月							
10月 11月	<p>数ⅠA、ⅡB30分プレートノート</p> <p>総合問題演習</p>						
12月 1月 2月	大学入学共通テスト・入試対策実践問題演習						

教科・科目	数学Ⅲ＋数学演習	学年	6年理系	単位	7単位＋2単位	担当	村瀬 泉・宮原 望
使用する教科書・教材	『新編数学Ⅲ』（数研出版）、問題集「クリアー数学Ⅲ」（数研出版）、その他プリント等						
<p>【科目の概要】数学Ⅲの内容は大きく分けて「複素数平面」「2次曲線の代数方程式・極方程式」「初等解析学」の3つの分野に分かれる。特に、「初等解析学」では、数学Ⅱに比べて関数や極限の概念、関数の連続性をやや厳密に捉えなおした上で、「微分積分」を有理・無理関数、指数・対数関数、三角関数などの初等関数に拡張する。また、積分の概念の本来の意味の表現である「区分求積法」や微分積分学の一つのルーツである速度・加速度・道のりの関係にも触れる。また、「2次曲線の代数方程式・極方程式」は、後に「初等解析学」と融合し、微分積分の方法でそれらの解析を行う。授業は、最初内容をⅢAとⅢBの2分野に分け、並行する形で進め、後に演習の中で統合する。</p> <p>【育成をめざす学力】まずはバランスのとれた直観力と表現力(数式・イメージ図・グラフ)、正確で速い計算力であり、中等教育における「数学」の学力の集大成といえる。つまり、数Ⅲが目指す力は、①「問題」を色々な視点から分析できる力、②与えられた条件を正確に把握出来る力、③何が問われているのかを明確に把握出来る力、④今まで学んできた知識を駆使して的確な解法を選び取る力、また、⑤その解法のプロセスを明快に表現・説明できる力を目指す。また、⑥「問題」の背景やその意味、「問題」の質など、「問題」を評価できる力もつけたい。数学Ⅲは高校と大学の数学を橋渡しする科目であり、理系の進路選択者にとっては必須科目であるし、大学での学びの基礎である。</p> <p>【評価基準・評価項目】①定義や公理などの基礎的な知識が理解のもとで身につけている。②法則や定理が理解のもとで身につけている。③問題の条件が正確に把握できる。④問題の条件を数式・図・グラフ等を用いて数学的に表現できる。⑤何が問われているのかが正確に把握できる。⑥問題解決のための方法を多角的に考察できる。⑦問題解決の方法を仲間と一緒に考え合うことができる。⑧問題の解法のプロセスを正確に記述できる。⑨問題の解法のプロセスを的確に説明できる。⑩「問題」を評価しようとする姿勢を持っている。</p>							
【年間指導単元・内容と学習活動】ⅢB						ⅢA	
4月 5月	第5章 微分法(数Ⅱの微積分の発展として扱う) 第1節 導関数と原始関数 (微分係数と導関数・導関数の計算) 第2節 いろいろな関数の導関数 (三角関数・対数関数・指数関数の導関数の公式) 第3章 逆関数と合成関数とその微分 いろいろな関数の微分の演習(媒介変数表示の微分、対数微分法・第n次導関数を含む) 第4章 極限 第2節 関数の極限(右・左極限、関数の連続性、中間値の定理)					第1章 複素数平面 (複素数の極形式) (ド・モアブルの定理) (複素数と図形) 第3章 分数関数・無理関数 第4章 極限 第1節 数列の極限(無限数列・無限級数) 第2章 式と曲線 第1節 2次曲線	
6月	第6章 微分法の実用 第1節 導関数の実用 (接線の方程式、平均値の定理、関数の値の変化とグラフ) 第2節 いろいろな実用(方程式・不等式への実用)					(放物線・楕円・双曲線) 第2節 媒介変数表示と極座標	
7月	第7章 積分法とその実用 第1節 不定積分 (置換積分法と部分積分法・いろいろな関数の不定積分)						
8月	第2節 定積分 (置換積分法と部分積分法・定積分のいろいろな問題) (微積分の基本定理・区分求積法)						
9月	第3節 積分法の実用 ・面積、体積 (速度と加速度・道のり・曲線の長さ・微分方程式)						
10月	数学総合問題演習(微分・積分融合問題)						
11月	数学総合問題演習(大学入試問題)						
12月	数学総合問題演習(大学入試問題)						
1月	大学入学共通テスト対策問題演習、私大・国公立2次試験対策問題演習						
2月	私大・国公立2次試験対策問題演習						

教科 科目	物理	学 年	6年理	単 位	4単位	担 当	井上 雄二
<b>【科目の概要】</b> 自然の事物や現象についての理解を深め、人間生活とのかかわりを考えることを主眼において、物理学的に探究する能力と態度を育て、同時に基本的な概念や原理・法則を理解する。5年次に身につけた物理的解釈の仕方を基礎とし、更に複雑な物理現象についてもモデル化し、条件から文字式を導くことで科学的な根拠に基づいて説明できるようにする。							
<b>【育成をめざす学力】</b> (1) 身近な現象から先端技術にいたるまで興味や関心をもって、科学的に物事をとらえようとする力 (2) 自然の事物や現象の知識を身につけ、自然のしくみや法則等を理解することのできる力 (3) 知識と与えられた条件から予想する力 (4) 現象のモデル化、グラフ化を行い、文字式を用いて数的処理をし科学的に考えることができる力 (5) 資料（文章・グラフ・表など）を正確に読解し、分析したり考察したりする力							
<b>【評価基準・評価項目】</b> (1) 日常生活で見られる事象や現象を物理的に説明することができる。 (2) 正確に計算し、適切な単位をつけて表記することができる。 (3) モデルやグラフ、文字式を用いた数的処理を行い、日常の物理現象を説明することができる。 (4) 観察・実験の過程、結果および考察を論文形式の報告書にまとめることができる。 (5) 物理の知識を活用して、自然の事物や現象・最新の科学技術・研究成果を説明することができる。							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
4月	Ⅱ－① 熱と気体（気体の状態変化）Ⅲ－② 波（正弦波）						
5月	Ⅳ－① 電場（静電気力・電場・電位・コンデンサー）						
6月	Ⅳ－③ 電流と磁場（磁場・電流のつくる磁場・電流が磁場から受ける力）						
7月	Ⅳ－③ 電流と磁場（ローレンツ力・電磁誘導の法則）						
8月	Ⅳ－④ 電磁誘導と電磁波（交流の発生・自己誘導と相互誘導・交流回路）						
9月	Ⅴ－① 原子（電子・光の粒子性・X線・粒子の波動性） Ⅴ－② 原子（原子の構造とエネルギー準位・原子核・放射線とその性質・核反応と核エネルギー・素粒子）						
10月	問題演習(大学入学共通テスト対策, 国公立・私立大入試対策)						
11月							
12月							
1月							
2月							

教科 科目	化学	学 年	6年理	単 位	5単位	担 当	山内 かな子
<b>【科目の概要】</b>							
<p>化学では、理論化学・無機物質・有機化合物を学びます。理論化学で、基本的な概念や原理・法則への理解を深めることで、無機物質や有機化合物を化学的な視点でとらえることができます。日常生活における化学について興味や疑問をもち、思考する習慣をつけましょう。これらの学びを通して、化学と社会との関わりや、化学の役割について考えていきましょう。</p>							
<b>【育成をめざす学力】</b>							
<p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、化学的に考える力  (2) 文章・図・グラフを読み取る力  (3) 自身の考えや思考プロセスを適切な方法で表現する力  (4) 興味関心をもって、自ら学ぶ姿勢  (5) 他者を尊重し、共同学習する姿勢  (6) 安全に配慮し、実験・観察を行う姿勢</p>							
<b>【評価基準・評価項目】</b>							
<p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、化学的に考えることができる  (2) 文章・図・グラフを読み取ることができる  (3) 自身の考えや思考プロセスを適切な方法で表現することができる  (4) 興味関心をもって、自ら学ぶことができる  (5) 他者を尊重し、共同学習することができる  (6) 安全に配慮し、実験・観察を行うことができる</p>							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
4月	第3章 無機物質	2節	非金属元素				
5月		3節	金属元素				
6月		3節	金属元素				
7月		4節	無機物質と人間生活				
	第4章 有機化合物	1節	有機化合物の特徴と分類	2節	脂肪族炭化水素		
8月		3節	酸素を含む脂肪族化合物第	4節	芳香族化合物		
9月		5節	有機化合物と人間生活				
	第5章 高分子化合物	1節	高分子化合物	2節	天然高分子化合物		
10月		3節	合成高分子化合物				
11月		4節	高分子化合物と人間生活				
12月	大学入学共通テスト試験対策						
1月	大学入学共通テスト試験対策			二次試験対策			
2月	二次試験対策						

教科 科目	理科演習①(化基)	学 年	6年文選	単 位	2単位	担 当	山内 かな子
<b>【科目の概要】</b>							
6年の理科演習では、化学基礎の授業の内容をさらに深め、共通テスト、国公立の2次試験や看護・栄養系入試に対応できる実力を身につけて行きます。							
<b>【育成をめざす学力】</b>							
(1) 化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、化学的に考える力							
(2) 文章・図・グラフを読み取る力							
(3) 自身の考えや思考プロセスを適切な方法で表現する力							
(4) 興味関心をもって、自ら学ぶ姿勢							
(5) 他者を尊重し、共同学習する姿勢							
(6) 安全に配慮し、実験・観察を行う姿勢							
<b>【評価基準・評価項目】</b>							
(1) 化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、化学的に考えることができる							
(2) 文章・図・グラフを読み取ることができる							
(3) 自身の考えや思考プロセスを適切な方法で表現することができる							
(4) 興味関心をもって、自ら学ぶことができる							
(5) 他者を尊重し、共同学習することができる							
(6) 安全に配慮し、実験・観察を行うことができる							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
4月	物質の変化						
5月							
6月							
7月	物質の構成 日常生活の化学						
8月							
9月							
10月							
11月	大学入学共通テスト対策						
12月	大学入学共通テスト対策						
1月	大学入学共通テスト対策 私大国公立2次対策						

教科 科目	生物	学 年	6年理	単 位	4単位	担 当	廣田 裕枝
<b>【科目の概要】</b> 生物学は、私たちにとって最も身近な科学です。なぜならそれは、生物としての自分自身を知ることであり、そこから見えてくる普遍的な生命現象を理解することだからです。最近の科学の進歩はめざましく、医療や遺伝子工学、環境科学の技術は一般人の理解を超えているように思われがちです。しかし、生物基礎で学んだことを基盤に、生物の授業の中でさらに深く知識や原理を学んでいくことによって、それらを理解し、身近なものとして考えられるようになるはずです。ぜひ、身の回りの自然現象や最先端の科学に興味を持ち、楽しんで授業を受けてください。							
<b>【育成をめざす学力】</b> (1) 興味や関心をもって身近な現象や先端技術をとらえようとする力。知識と与えられた条件から予想する力。 (2) 自然の事物や現象の知識を身につけ、自然のしくみや法則等を理解することのできる力。 (3) 学習の方法やその工夫を考え基本事項を正確に理解し、定着させる力。 (4) 資料（文章・グラフ・表など）を正確に読解する力分析したり考察したりする力。 (5) 根気強く、速く、正確に計算する力。 (6) 単位の意味を理解し、正しく活用することができる力。							
<b>【評価基準・評価項目】</b> (1) 授業で学習した内容を正しく理解し、これまでの学習内容や身の回りの自然現象との関連付けができる。 (2) 基本的な概念・法則を理解し、科学的な自然観をもつことができる。 (3) 知識や自分の考えを文章で的確に表現することができる。 (4) 観察・実験の目的や内容を理解し、的確に行うことができる。 (5) 結果を予測し、結果に対して科学的な考察を行うことができる。 (6) 実験データなどをグラフ化したものなどから規則性を読み取ることができる。							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
4月	第4部 生物の進化と系統						
5月							
6月	第5部 生態と環境						
7月	受験演習（実践アクセス・発展問題 など）						
8月							
9月							
10月	大学入学共通テスト対策演習						
11月							
12月							
1月	大学入学共通テスト対策演習 私立・国公立二次対策演習						
2月	私立・国公立二次対策演習						

教科 科目	理科演習②（生基）	学 年	6年文選	単 位	2単位	担 当	廣田 裕枝
<b>【科目の概要】</b>							
<p>生物学は、私たちにとって最も身近な科学です。なぜならそれは、生物としての自分自身を知ることであり、そこから見えてくる普遍的な生命現象を理解することだからです。最近の科学の進歩はめざましく、医療や遺伝子工学、環境科学の技術は一般人の理解を超えているように思われがちです。しかし、生物基礎で学んだことを基盤に、生物の授業の中でさらに深く知識や原理を学んでいくことによって、それらを理解し、身近なものとして考えられるようになるはずです。ぜひ、身の回りの自然現象や最先端の科学に興味を持ち、楽しんで授業を受けてください。</p>							
<b>【育成をめざす学力】</b>							
<p>(1) 興味や関心をもって身近な現象や先端技術をとらえようとする力。知識と与えられた条件から予想する力。</p> <p>(2) 自然の事物や現象の知識を身につけ、自然のしくみや法則等を理解することのできる力。</p> <p>(3) 学習の方法やその工夫を考え基本事項を正確に理解し、定着させる力。</p> <p>(4) 資料（文章・グラフ・表など）を正確に読解する力分析したり考察したりする力。</p> <p>(5) 根気強く、速く、正確に計算する力。</p> <p>(6) 単位の意味を理解し、正しく活用することができる力。</p>							
<b>【評価基準・評価項目】</b>							
<p>(1) 授業で学習した内容を正しく理解し、これまでの学習内容や身の回りの自然現象との関連付けができる。</p> <p>(2) 基本的な概念・法則を理解し、科学的な自然観をもつことができる。</p> <p>(3) 知識や自分の考えを文章で的確に表現することができる。</p> <p>(4) 観察・実験の目的や内容を理解し、的確に行うことができる。</p> <p>(5) 結果を予測し、結果に対して科学的な考察を行うことができる。</p> <p>(6) 実験データなどをグラフ化したものなどから規則性を読み取ることができる。</p>							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
4月	発展演習						
5月	発展演習						
6月	大学入学共通テスト対策演習	私大入試対策演習					
7月	大学入学共通テスト対策演習	私大入試対策演習					
8月	大学入学共通テスト対策演習	私大入試対策演習					
9月	大学入学共通テスト対策演習	私大入試対策演習					
10月	大学入学共通テスト対策演習	私大入試対策演習					
11月	大学入学共通テスト対策演習	私大入試対策演習					
12月	大学入学共通テスト対策演習	私大入試対策演習					
1月	大学入学共通テスト対策演習	私大入試対策演習					

教科 科目	音楽Ⅲ	学 年	6年	単 位	2単位	担 当	佐野 智江
<b>【科目の概要】</b> 5年次と同様、本科目は週1回2時間連続の授業形態をとります。5年次では、意欲的に音楽活動に参加し個性豊かな音楽表現をすることを目標としてきました。本科目ではそれをふまえた上で、集団を意識した音楽活動を展開し、周囲との調和を考えた音楽学習を実践します。学習教材も高度なものになりますが、より高い技術と音楽性の習得を目指し、授業をすすめます。社会と音楽とのかかわりについても考える機会を持ちます。							
<b>【育成をめざす学力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広い視野から音楽をとらえる能力。</li> <li>・ より高度な演奏技術と音楽的感性の習得。</li> </ul>							
<b>【評価基準・評価項目】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意欲的に授業に参加できる。</li> <li>・ 豊かな音楽性をもった表現ができる。</li> <li>・ 音楽と自分との関わりについて深く考えることができる。</li> </ul>							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
4・5月	歌唱活動 音楽基礎知識確認 作曲家の功績（モーツァルト）						
6月	日本歌曲について 楽器について 合奏活動 確認テスト 実技テスト						
7・8月	ピアノ演習 音楽用語の学習						
9月	作曲家の功績（バッハ、ヘンデル、ハイドンの有名曲鑑賞） イタリア歌曲について 楽曲の種類について						
10月	作曲家の功績（ベートーヴェン、ショパンの有名曲鑑賞） 歌唱活動 楽曲研究						
11月	クリスマス讃美歌 合奏活動 確認テスト 実技テスト						
12月	クリスマス礼拝に向けて（ハレルヤコーラス） 高校で学習した音楽の総まとめ						



教科 科目	美術Ⅱ	学 年	6年	単 位	2単位	担 当	服部 夏子
【科目の概要】 自分の設定した鑑賞者、使用者の気持ちを考えつつ自分の個性を生かした作品を制作します。また作品制作と鑑賞を通して美術的表現と社会性について学びます。							
【育成をめざす学力】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表現することに価値を置き有効な表現手段を探り、表現する力</li> <li>・ 時代の中、世界の中の自分の位置を把握し、独創的な発想をする力</li> <li>・ 目標を設定し実現のために計画的に行動する力</li> <li>・ 民族・地域・時代による価値の違いに興味関心を持ち理解する力</li> </ul>							
【評価基準・評価項目】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的にあった表現様式（方法）・材料を選択することができる</li> <li>・ 作品の良さや美しさ、作者の心情を感じとることができる</li> <li>・ 自己価値を見つめ、新しい美を発見しようと努力する</li> <li>・ 美術の変遷を影響と発展の観点から理解することができる</li> <li>・ 世界の美術の違いを理解し、その良さを味わうことができる</li> </ul>							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	油絵の続き						
5月	絵本を製作する						
	絵本の味わいを探る						
6月	テーマ決定とプランニング						
7月	制作						
8月	製本・完成・鑑賞						
9月	削って描く（スクラッチボード）						
	モノクロの世界を味わう						
10月	テーマの決定						
	制作・完成・鑑賞						
11月							
12月	感謝の気持ちを表現する（グリーティングカード）						

教科 科目	書道 II	学 年	6年	単 位	2単位	担 当	中島 啓子
【科目の概要】							
<p>生活の中で文字を書く機会が減り、毛筆を使用する機会はほとんどないのが現状です。しかし、伝統文化である書には、無機質な機械による文字にはない温かさや、書き手の思いが表現されます。感動した言葉や、自分の思いをのせた作品の制作を通して自己発信し、また、生涯にわたり書道に親しむ機会になればと思います。書道 I で培った基礎的な表現力、鑑賞力を高めるとともに、技術の向上を目指します。仮名の散らし書きにも挑戦します。</p>							
【育成をめざす学力】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・書の伝統や文化についての理解を深める力。</li> <li>・創造的な活動を通して、自分なりに感受性を高め、書の美しさについて言語発信できる力。</li> <li>・個性豊かな表現、鑑賞ができる力。</li> </ul>							
【評価基準・評価項目】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の提出に加え、単元ごとの書道の歴史が理解でき、書表現ができています。</li> <li>・自主的かつ積極的に学習活動を行い、書に親しむことができ、生活に活かすことができています。</li> <li>・言葉遣いや行動が他者への配慮をもって行われ、協調性があり、機敏に行動することができる。</li> </ul>							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	漢字の書 篆書		清雅				
5月	楷書		龍門造像記				
6月	草書 漢字による創作（楷書、行書、草書、篆書、隸書）と臨書		書譜				
7月	実用書		のし袋の書き方 手紙文				
8月	硬筆						
9月	漢字仮名交じりの書の学習		自由撰文 半切 1 / 3、1 / 2				
10月	仮名の書		高野切第一種				
11月	散らし書き 和歌一首						
12月	自由課題 高校書道のまとめ						

教科 科目	保健体育 体育	学 年	6年	単 位	3単位	担 当	猪 寛子
【科目の概要】 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を促すとともに、構成、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる能力を育てる。健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、健康の増進と体力の向上を図る。							
【育成をめざす学力】 ・ 生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力の育成。 ・ 健康・安全の管理能力の育成。 ・ 体力の向上。							
【評価基準・評価項目】 ・ 各自が競技の特性を理解し、基本的動作ができる。 ・ 応用的技術を習得し、ゲームができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4・5月	1 体育に関するオリエンテーション・安全教育 2 集団行動…体育で行う行動様式の習得 バドミントン ① ②スタンス						
6月	3 バドミントン ①グリップ、スタンス ②ストローク ④ショット ⑤サーブ						
7月	③ショット ④サービス ⑤スマッシュ ⑥評価・実技テスト						
8月	⑦ルール説明、ゲーム 4 テニス ①グリップ、スタンス						
9月	②グラウンドストローク ③ボレー						
10月	④スマッシュ ⑤サーブ						
11月	⑥評価、実技テスト ⑦ルール説明・簡易ゲーム ⑧ゲーム（シングルス）						
12月	⑨ゲーム（ダブルス）						

教科 科目	家庭	学 年	6年	単 位	2単位	担 当	内田 絵理香
<b>【科目の概要】</b> 現在は男女が協力して家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことが重要になっています。人はどのような生き方をしようとも、日々の暮らしをなくすことはできません。家庭科は人間が生きていくために、自分の生活を自分でデザインする力をつける教科です。一人ひとりが生活の主人公になる力をつけることを目的とし、そのために必要な知識や技術、考え方などを学び、自らの力で生活できる能力を身につけ、自分の生活スタイルを自己決定するだけの基本的な構えをつくっていきます。							
<b>【育成をめざす学力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来の生活設計を考えようとする力</li> <li>・ 情報を収集・活用する力</li> <li>・ 自分の考えをまとめる力</li> <li>・ 課題に対して様々な角度から考える力</li> <li>・ 生活をよりよいものにしていこうとする意欲や創意工夫する力</li> </ul>							
<b>【評価基準・評価項目】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習した領域についての基本的知識を習得できている。</li> <li>・ 安全に配慮してグループのメンバーと協力して実習を行うことができる。</li> <li>・ 必要な情報収集・活用ができる。</li> <li>・ さまざまな視点から情報を分析し、自分の意見をまとめて発表することができる。</li> <li>・ 学習内容に関するスクラップブックを作成し、その内容を要約して発表することができる。</li> <li>・ 必要な情報を収集し、自分の考えをまとめて発表することができる。</li> </ul>							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
4・5月	「消費者として自立する」(1)消費行動を考える						
6・7月	「消費者として自立する」(2) 経済的に自立する						
8・9月	「住生活をつくる」 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 人と住まいのかかわり</li> <li>(2) 住まいを計画する</li> <li>(3) 健康的で安全な住まい環境</li> </ul>						
10月	「住生活をつくる」 (4)これからの住まいを考える						
11・12月	「食生活をデザインする」 <ul style="list-style-type: none"> <li>食卓の作法</li> <li>食事の計画</li> </ul>						

教科 科目	英語 コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅱ	学 年	6 年	単 位	7 単位	担 当	古賀直美・井上真理子 千葉敦子・加瀬由佳 クリスオサリバン
<p>【科目の概要】</p> <p>入試問題に取り上げられる英文長文問題の特徴はそのテーマ出題の多様性にあります。従って読解演習においては、様々な最新のテーマを扱った英文を論理的観点から考察し、筆者の趣旨やその英文が担っている役割を把握する力を養います。また、ネイティブ教師と日本人教師とのペアで教えるオーラルコミュニケーションの授業を通して、確かな文法力を基礎とした英作の力や、ディスカッション等が行える総合的な英語力の向上を目指していきます。英語表現Ⅱでは、文法事項や構文を復習しながら、英語で表現できる力を養います。</p>							
<p>【育成をめざす学力】</p> <p>Reading：速くそして正確にパラグラフごとのテーマと論理展開を見抜く力・テキストを分析的、批判的に読む力</p> <p>Listening：目的をもって展開を予測しながら聴き、内容を把握する力</p> <p>Speaking / Writing：与えられた知識を活用して自ら考え、積極的に英語で表現する力</p>							
<p>【評価基準・評価項目】</p> <p>Speaking：さまざまな問題について、他教科との連携の中で得た知識をもとに理解を深め、自分の意見を英語で、5分程度で発表することができる。また、それに対して、質疑応答や意見交換をすることができる。</p> <p>Writing：さまざまな問題について、他教科との連携の中で得た知識をもとに、200語程度の英文で、自分の考えや意見を書くことができる。</p> <p>プロセスライティングの過程を実行し、パラグラフで自己表現することができる。</p> <p>Reading：大学入学共通テストレベルの英文を wpm 120 程度で読み、理解できる。</p> <p>著者の意図を正確に読み取り、それに対する意見を持てる。</p> <p>300語程度の英文（大学入学共通テストレベル）を読んで、英語で要約することができる。</p> <p>Listening：大学入学共通テストレベルの問題に、7割正解することができる。</p> <p>200 words 程度の英文を、メモをとりながら聞き、大意を把握することができる。</p>							
<p>【年間指導単元・内容と学習活動】</p>							
4月	文法演習および読解演習 パワーポイントプレゼンテーション						
5月							
6月							
7月							
8月	大学入学共通テスト対策						
9月	文法演習および読解演習 ディスカッション トピック①・トピック②						
10月							
11月							
12月							
1月	※大学入学共通テスト特別補講						
2月	※私大・国公立2次対策授業						
3月							

教科 科目	英語 英語演習	学 年	6年(文系)	単 位	2単位	担当	古賀直美・野田美由紀 高松恵里
<p>【科目の概要】</p> <p>主に速読力を中心に、大学入試（大学入学共通テスト）に対応できるリーディングスキルを磨いていきます。また、読んだ内容をもとに考えを深め、プロセスライティングの手法を用い、パラグラフでエッセイを書く力をつけて行きます。パラグラフライティングの力をつけることは読解力を伸ばすことにもつながり、リーディング力を高めることにもなります。</p>							
<p>【育成をめざす学力】</p> <p><b>Reading</b>：速く、正確にパラグラフごとのテーマと論理展開を見抜く力・テキストを分析的、批判的に読む力</p> <p><b>Writing</b>：与えられた知識を活用して自ら考え、積極的に英語で表現する力</p>							
<p>【評価基準・評価項目】</p> <p><b>Writing</b>：さまざまな問題について、他教科との連携の中で得た知識をもとに、200語程度の英文で、自分の考えや意見を書くことができる。プロセスライティングの過程を実行し、パラグラフで自己表現することができる。</p> <p><b>Reading</b>：大学入学共通テストレベルの英文をwpm120程度で読み、理解できる。 著者の意図を正確に読み取り、それに対する意見を持てる。 300語程度の英文（大学入学共通テストレベル）を読んで、英語で要約することができる。</p>							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	速読演習      ライティング						
5月							
6月	速読演習      ライティング						
7月							
8月							
9月	速読演習      ライティング						
10月	大学入学共通テストリーディング演習      ライティング						
11月	大学入学共通テストリーディング演習						
12月	入試自由英作文						
1～3月							

教科 科目	聖書	学 年	6年	単 位	1単位	担 当	佐藤 清一
<b>【科目の概要】</b> 5年次からの継続であるが、特に宗教改革の歴史と精神に学び、プロテスタンティズムの発展とそこに生きた人々の信仰と使命を学ぶ。							
<b>【育成をめざす学力】</b> A. 聖書と教会を理解するための知識を習得し、整理する力。 B. 知識を活用（分類・分析）して聖書や教会を解釈する力。 C. 知識を活用（分類・分析）して自分自身の将来像を展望する力。							
<b>【評価基準・評価項目】</b> ・キリスト教の歴史的知識を理解し、知識を身に着けている。 （宗教改革史を学んでカトリックとプロテスタントの違いを認識できる。 キリスト教が日本に伝えられたことの意義が理解できる。） ・日常生活において生じる様々な問題について、聖書に基づいて考え、判断したり、自分の意見を述べることができる。 ・聖書の授業に興味・関心を持ち、課題等に対して主体的に取り組み課題を解決しようとしている。 ・キリスト教信仰に生きた人々の信仰と行動から自分自身の将来像をイメージできる。							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
4月	キリスト教史を学ぶ意味						
5月	ドイツの宗教改革(1) (2)						
6月	スイスの宗教改革とその影響						
7月	イギリス国教会の成立						
8月							
9月							
10月	カトリック改革						
11月	近代欧米のキリスト教						
12月	アジアと日本のキリスト教そして現代世界のキリスト教						
1月							
2月							
3月							

教科 科目	インテグレーション6	学 年	6年	単 位	1単位	担 当	6学年教師
<b>【科目の概要】</b> <b>テーマ：「国際平和をめざすために、平和とは何かについて考える」</b> 国際平和を実現するために何が求められているのか、現在日本が抱えている諸問題を知り、考えていきます。これを通して、今後国際社会の一端を担う立場として、真の平和とは何かについて探求していきます。正確な情報収集～内容の精査～論文作成～論文内容を基にしたプレゼンテーションを行い、高校のインテグレーション学習の集大成とします。							
<b>【育成をめざす学力】</b> ① 課題を多面的に推測し考察していく力。 ② リサーチした情報から現状分析を行い、必要な情報を客観的に読み取る力。 ③ 多面的に問題点を分析し、改善・解決の方策を探る力。 ④ 自分自身の意見（立場）を、根拠を明確にして表現する力							
<b>【評価基準・評価項目】</b> ① 必要な情報を収集し、整理、分析することができる。 ② 現状認識、問題点分析後、問題解決に向けて、様々な視点から考えを深めることができる。 ③ 様々な立場・意見を理解し、その中から自分の意見を表明することができる。 ④ 自分自身の意見を、根拠を明確にして論文にまとめることができる ⑤ 4,5年次で学習した「論理コミュニケーション」の学習内容を反映した活動ができる。 （筋道の通った根拠～事例にもとづいて意見を述べるができる。）							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】</b>							
1学期	<情報収集と分析> 「平和とは何かについて考える～国際平和の壁となっている諸問題を知る」 ・ 自ら正確な情報を収集する。 ・ 収集した情報をもとに、自ら現状分析・課題発見・改善・解決の方策を考える。 ・ 筋道の通った根拠～事例を導き出す。						
2学期	<論文作成とプレゼンテーション> 「平和とは何かについて考える」 ・ 筋道の通った根拠～事例に基づいて意見を導き、文章化する。 ・ 論文作成（文章表現・構成・異なる意見を提示し、反証する・推敲）能力を身につける。 ・ プレゼンテーションを通して、自分の意見を正確に周囲へ伝える。						



教科 科目	総合表現講座	学 年	6年	単 位	2単位	担 当	6学年教師
<b>【科目の概要】</b>							
<p>皆さんはこれまでに授業を通して、またメディアを通して、多くのことを学んできました。最上学年として今後も様々な知識を習得していきますが、この講座では、その知識（知り得た情報）を、色々な手段を使って外にむかって「表現」していくことを目的とします。その際、自分自身が理解して表現することは勿論、周囲にもその考えが伝わるような表現が出来るよう、実践を通して学びます。</p>							
<b>【育成をめざす学力】:</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられたテーマの意味が理解する力</li> <li>・情報の収集と整理、情報をもとに思考・判断する力</li> <li>・自分の考えを、様々な手段を使つて的確に表現する力</li> <li>・他人の意見を受け入れ、自分の視野を広げる力</li> <li>・内容に応じて効果的に表現（プレゼンテーション）する力</li> </ul>							
<b>【評価基準・評価項目】:</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加することができる。</li> <li>・与えられたテーマについて、「多くのことを知ろう」とする姿勢が見られる。</li> <li>・グループ活動に意欲的に取り組むことができる。</li> <li>・自信を持って自分の意見を周囲に伝えることができる。</li> <li>・文章やプレゼンテーションなどで他者に伝わる表現ができる。</li> </ul>							
<b>【年間指導単元・内容と学習活動】:</b>							
4月	オリエンテーション      グループディスカッション      エッセイ作成						
5月	エッセイ作成      CM作成						
6月	CM作成      高大連携講座						
7月	小論文      各種作品応募						
8・9月	各種作品応募      時事問題						
10月 ～ 12月	プレゼンテーション      年間のまとめ						

教科 科目	高大連携講座	学 年	6年	単 位	2単位	担 当	6学年教師
【科目の概要】 高大連携講座は、本校併設大学の教員との連携で、実際に大学教員による講義を受講しながら、大学における研究姿勢や研究意義を学ぶことによって進学意識を高め、高校での学びと大学進学後の学びをスムーズに連携させることを目的とした本校独自の設定教科です。							
【育成をめざす学力】 ・ 大学教育への理解を通して自己実現に向けプランニングし実践する力 ・ 大学教員による講義の概要をまとめる力、自己の研究課題を発見する力、情報を収集・分析する力 ・ 研究活動に対する自己を評価する力、相互に評価する力							
【評価基準・評価項目】 ・ 自分の考えや講義内容を文章で的確に表現できる。 ・ 自己実現に向けて、自らの課題に取り組むことができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	オリエンテーション						
5月	西南女学院大学講義に向けて準備						
6月	西南女学院大学講義・大学講義報告書						
7月	面接に備える①（面接試験基本練習等）						
8月	面接に備える②（面接試験基本練習等）						
9月	現代を知る①						
10月	現代を知る②						
11月	現代を知る③						
12月	現代を知る④ まとめ						
1月							
2月							
3月							